

システムの目的

10月16日 議題2
資料2-2

■給付費の算定・審査に係る事務負担が非常に大きいことから、事業者及び本市職員の事務負担軽減を目的に保育給付申請システムを導入します。（令和3年4月稼働予定）

給付名	給付先＝請求者	概要	扱う個人情報	給付頻度
施設型給付 地域型保育給付	・私立保育所 ・認定こども園 ・小規模保育事業所 ・事業所内保育事業所	児童数、職員配置状況に応じた単価・加算項目によって算定される金額を市が施設に給付する	主に 自施設の職員情報 (氏名、職種、勤務形態…)	月1回
施設等利用給付	・幼稚園 ・認可外保育施設	月額保育料を保護者から徴収しない代わりに、市が施設に給付する ＝法定代理受領	主に 自施設の園児情報 (氏名、居住地、入退園日…)	月1回

※施設等利用給付は既存システムがなく新規開発するため、令和4年4月稼働予定です。



・複雑な制度ゆえ入力誤りが多発
・給付費算定にかかる根拠データ(園児情報、職員情報)の入力・集計が膨大
・単価改定・制度改正のたび様式変更があり、過去データを活用できない

・入力誤り等のチェックが膨大、入力誤りに対する繰り返しの補正指示
・単価改定・制度改正のたびの様式変更(エクセルファイルの修正)
・年度末精算時に施設数×12月分のエクセルを確認するのが一苦労



オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

1

システムの概要

■本システムは本市及び事業者職員がWebブラウザを通して給付費の算定・申請・審査を行うクラウド・システムです。

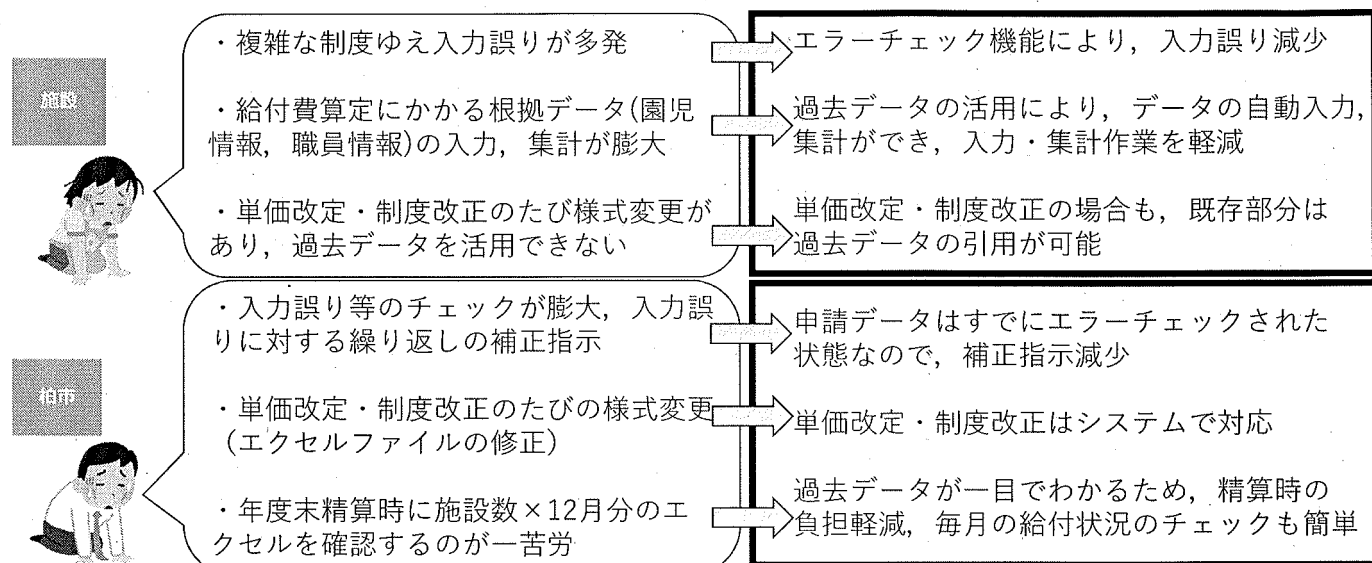
	教育・保育施設	本市
Who	施設長、園長、保育士、事務職員 1施設あたり1～2名、150名程度	保育整備課・保育運営課職員 10名程度
When	月末～月初 お昼寝の時間、園児の帰宅後	月初～月中(請求書の提出後) 8:30～17:15 ※繁忙期は17:15以降もあり
Where	各園事務室	自席
What	システムの申請者機能	システムの審査者・管理者機能
Why	入力負担軽減、ミス防止	エクセル作成の時間削減、審査の効率化、問い合わせ削減
How	園児情報・職員情報・施設情報を入力する、給付費を自動計算させる、請求情報を申請する、請求書等出力する	申請を承認・差戻する、住記・財務データと突合する、書類と照合する

オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

2

システム化のメリット

■エクセルや紙、メールを使った事務では限界があったエラーチェックや過去データの活用がシステム化により解決し、職員の事務負担軽減が見込まれます。

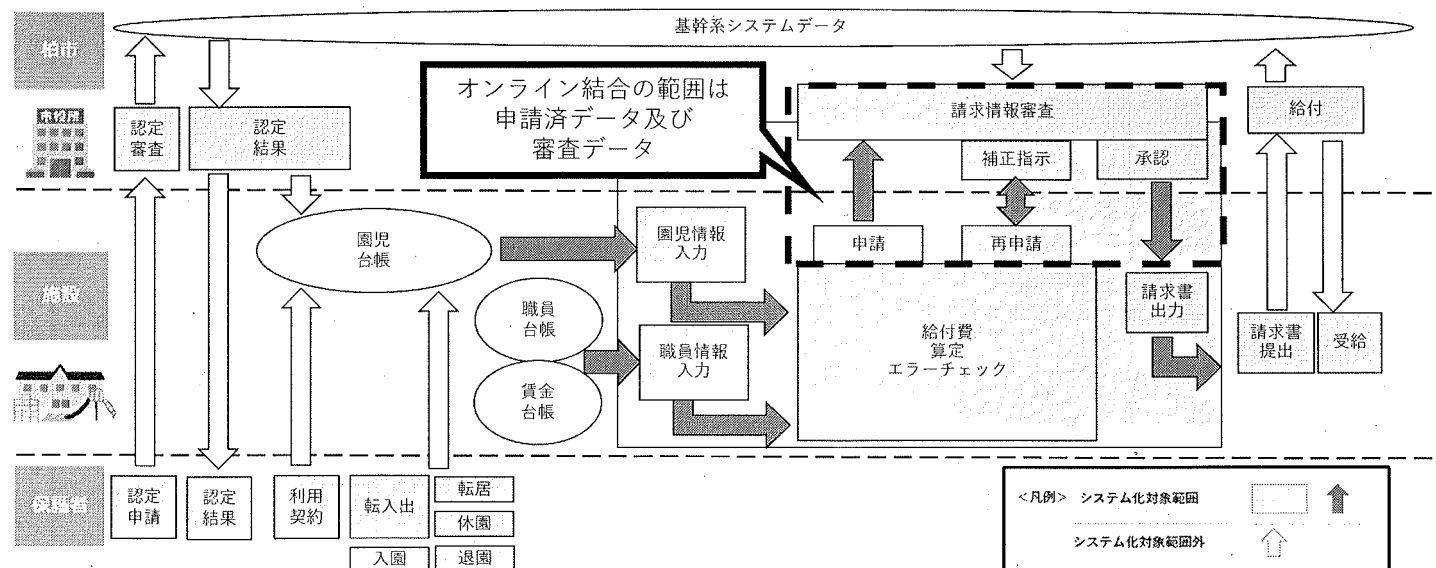


オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

3

業務フローの概要（毎月の給付費申請・審査）

■従前は紙やエクセル、メールで行っていた事務をシステム化します。
■事業者が園児・職員情報を入力、給付費を算定・申請し、本市が審査するフローです。



オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

4

オンライン結合により提供する保有個人情報の項目

■給付費の算定に係る項目のみを対象とします。

項目は、子ども・子育て支援法及び関連内閣府令に定められているもので、現行どおりです。

利用者（施設職員）がアクセスできる個人情報は、自施設の園児情報及び職員情報のみです。

給付名称	項目（園児情報）	項目（職員情報）
施設型給付及び地域型保育事業給付（保育整備課所管）	各月の副食費徴収免除対象子ども及び療育支援加算（障害児保育加算）対象子どもに関する氏名、生年月日、入園日、退園日、歳児、保育の必要量、事業所内保育用地域枠・従業員枠の別	氏名、役職、職名、資格種類、雇用形態、勤務形態、兼務の情報、1日あたりの勤務時間、1月あたりの勤務日数、各月の1月当たり勤務時間数、職員ごとの勤務開始日（雇上日）、勤務終了日（退職日）、他施設での勤務歴、配置クラス・役割等、非常勤職員を常勤換算する際に用いる所定労働時間、身体障害者・知的障害者・精神障害者・母子家庭の母・父子家庭の父・寡婦の別、基本給、諸手当、賞与、一時金
施設等利用給付（保育運営課所管）	子ども・子育て支援を提供した日及び時間帯、子ども・子育て支援の内容、費用、その他施設等利用費の支給に必要な事項（氏名、フリガナ、生年月日、居住自治体、転入日、転出日、入園日、退園日、休園期間、歳児区分、クラス名、認定種別、認定番号、副食費補助対象、主食費補助対象）	なし

オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

5

セキュリティ対策（システム）

■情報の漏えい・改ざん・消失等のリスクを想定した対策を多層的に行います。

■「柏市情報セキュリティポリシー」を確実に遵守します。

ポイント	セキュリティ対策
機密性	・ID・パスワードによる利用者認証、ワンタイムパスワードの利用 ・総合行政ネットワークLGWANによる接続 ・SSL/TLSを利用した通信経路の暗号化 ・DMZ（非武装地帯）、ファイアウォール、WAFの実装 ・不正アクセスの検知
完全性	・インターネット側から直接データベースにアクセスできない構成 ・操作ログ・アクセスログの取得 ・データベースの暗号化
可用性	・バックアップの日次取得 ・サーバ機器等の冗長化 ・国内データセンターにおける停電、火災、地震等の対策

<データ消去>

- ・毎年度、一定期間が経過したデータ（公文書保存期間が経過したデータ等）を専用ツールで削除する。
- ・本システム利用終了後のデータ消去は、記憶装置から全ての情報を消去の上、復元不可能な状態にする措置をとることとし、ベンダーに対しデータ消去証明書の提出を求める。

オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

6

業務実施体制（システム）

- 本システムは、平成26年7月に開発をスタートし、現在は杉並区、中央区、港区など9自治体で稼働実績があります。
- 理想科学工業が販売代理店として統括及びサポート、再委託先岩手インフォメーション・テクノロジーがシステム開発等を行います。

会社	業務	内容	合計	予備人員
理想科学工業株式会社	管理責任者	全体の進行、品質管理、納期管理	1	1
理想科学工業株式会社 理想柏支店	現地サポート	現地訪問、サポート対応	2	2
岩手インフォメーション・ テクノロジー株式会社	システム責任者	パッケージシステムの管理責任者	1	1
	開発	給付申請パッケージシステムの改修、 施設等利用給付の開発	8	10
	ヘルプデスク	自治体、施設担当者に対してのヘルプデスク、 内部テスト	2	2
	デザイン	システム画面デザイン	1	1

各業務ごとに予め予備人員を設定し、欠員等が発生した場合に備える。



販売・フィールドサポート担当

印刷機の製造・販売メーカーとして、全国の自治体および学校施設への訪問活動を実施。理想柏支店がサポート。



開発・ヘルプデスク担当

システム開発会社として、幼稚園・保育園の登降園管理システムなどを販売。産学官連携による機能拡充が図られている。

オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

7

セキュリティ対策（利用者）

- 利用者である教育・保育施設の事業者について、システム利用に関する監督を徹底します。

ポイント	対策の具体例
情報機器等の適切な管理	・使用する機器のOSやセキュリティ対策ソフトの適用状況、使用するブラウザの確認
不正アクセスの防止	・ID・パスワードの管理など情報セキュリティに関する定期的な啓発

個人の権利利益を不当に侵害することがないように、システムにかかる技術的なセキュリティ対策のほか、教育・保育施設の利用にかかる対策も実施します。

オンライン結合による保有個人情報の提供に係る諮問書添付資料（保育給付申請システム）

8